

# 討論

予算審査特別委員会最終日の3月7日、会計ごとに討論・採決を行いました。

その討論の要旨は次のとおりです。

## 一般会計

### 反対

深沢宏美 議員

一般家庭ごみ収集の有料化促進、不要・不急の総合運動公園建設に着手、国構造改革に追随、行政の責任放棄につながる指定管理制度推進、非常勤特別職報奨金の軒並み削減、地域崩壊につながる学校統廃合推進、利用者の声にこたえないデマンド交通実証運行など、住民本位の予算とは言えず反対する。



見据えた本予算に賛成する。

発行世帯の8割が200万円以下の低所得層であり命にかわる問題でありながら、減免制度や資格証の発行を中止し住民負担を取り除く姿勢もなく反対する。

中止し住民負担を取り除く姿勢もなく反対する。

### 賛成

三上公博 議員

本町の予算の中では、歳出の中心は23億円余りに上る病気や、怪我等への保険給付である。訪問介護などの事業にも支出がなされている。滞納案件もあるが、徴収アドバイザーによる納税相談等が丁寧に行われている。これらの事から本予算は、町民の健康づくりの推進にとって欠かせない予算であるので賛成する。

## 特別会計

### 反対

深沢宏美 議員

町政始まって以来の大型予算となり、その主な要因は放射能問題に対して積極的に取り組んでいることの現れです。また、予算総額に臆することなく道の駅の整備など、大事業にも取り組む積極型の予算編成となっている。不景気も直視し、町民税等は減額しており、現実を知りながらも将来を

## 後期高齢者医療

### 反対

深沢宏美 議員

命と健康を守る上でこのようない制度は廃止すべきであり反対する。

命と健康を守る上でこのようない制度は廃止すべきであり反対する。

### 賛成

平山泰紀 議員

栃木県後期高齢者医療広域連合と市町の役割分担として、保険料等の広域連合への納付や窓口業務に要する経費等について計上するものであり、後期高齢者医療制度の適正な運営と、老後ににおける健康保持や適切な医療の確保を目的とするものであり、本予算案に賛成する。

## 介護保険

### 反対

深沢宏美 議員

75歳以上の高齢者を国保から切り離し、診療報酬も別枠で引下げ、医療費の10%を高齢者が負担する制度、介護料の引き上げは普通徴収者947名の内327名35%が滞納者。介護制度を守るために多くの市町で行っている減免制度や基金や一般会計からの繰り入れで高齢者の負担を取り除く姿勢もなく反対する。